

年度 2008 学期 前期	曜日・校時	木・1	必修選択	必修	単位数	1
授業科目/(英語名)		総合英語 I/ Comprehensive English I				
対象年次 1 年		講義形態 演習		教室		
対象学生(クラス等)		M12		科目分類		外国語科目(英語)
担当教員(科目責任者) / E メールアドレス/研究室/TEL/オフィシアワー 担当教員: 上村 俊彦 /Eメールアドレス:yandi@sun.ac.jp /研究室: 非常勤控え室 /TEL: 813-5500 /オフィシアワー:木曜日開講時間の前後						
担当教員(オムニバス科目等)						
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標 授業のねらい: オーセンティックな英語 (英語母語話者による英文テキスト、ナチュラルスピードで録音された音声教材)を用いて、英語の4技能(読み、聞き、書き、話す)の習熟のためのトレーニングを行う。 授業方法: 英文テキスト概要の把握や内容理解をするための Scanning や Skimming、英語による発信語彙の習得のための vocabulary building、英文テキストの listening、テキスト内容についての英語による Question and Answer などを中心に授業を進める。 授業到達目標: 大学生、社会人として必要とされる英語の基礎力を習得する。センテンス・ベースの訳読重視を改め、パラグラフの構造、テキストの情報構造(旧情報と新情報)などに習熟し、テキスト全体の要旨を理解する英語の理解力を習得する。 テキストの新出語彙や語法について、教材ウェブサイト上の英語辞書、手持ちの英英辞典、インターネット・サーチエンジン検索などを通じて迅速的確に調べる能力を習得する。						
授業内容(概要)/授業内容(毎週毎の授業内容を含む) (1300 文字) 授業内容(概要) 各課のテーマに関連する英文テキストを用いて、トピックセンテンスやキーワードを探す作業、テキストの全体的な構成を確認する作業、英問英答によるテキスト中の語(句)や文の意味確認、英文テキストの音声 CD を用いたリスニング、シャドウイング等の練習などをおこなう。また、機会を見て、テーマに沿った英文テキストを書く演習もおこなう。 第1回 オリエンテーション 第2回 The Paradox of Happiness 第3回 Close to Home 第4回 The Birth-Order Myth 第5回 Why so Many more Americans Die in Fires 第6回 Acupuncture 第7回 Highs and Lows in Self-esteem 第8回 前半学習内容の整理(中間試験を含む) 第9回 Government and Education 第10回 The Fedral System of Government 第11回 Too Soon Old, Too Late Wise 第12回 The Pursuit of Excellence 第13回 Science and Technology 第14回 Antarctica 第15回 学習のまとめ						
キーワード		オーセンティックな英語、英語の 4 技能				
教科書・教材・参考書		Smith, L. & Mare, N.N. (2004) <i>Concepts for Today</i> , Thomson & Heinle				
成績評価の方法・基準等		中間試験 40% 期末試験 40% 課題レポート 10% リスニング試験 10% (大学所定の出席回数を上回った学生のみを評価の対象とする)				
受講要件(履修条件)		テキスト音声教材を録音した CD を配布予定 (媒体実費程度の負担が必要)				
本科目の位置づけ /学習・教育目標						
備考(準備学習等)		英語辞書(電子辞書も可)を、毎回持参すること。				